

モデル事業の実施(介護サービス選択お助けネット)

「見やすさ」「使いやすさ」「分かりやすさ」の観点から、平成22年度に公表システムに以下の改良を行った。

※4県(宮城、神奈川、富山、岡山)、5サービス(訪問介護、通所介護、短期入所、居宅介護支援、特定施設(有料老人ホーム))で実施。**平成23年度より全国展開**している。

1 簡易版(概要版)の追加

情報がコンパクトにまとまった「概要版」を作成し、利用者にとってわかりやすい表示画面に工夫。

2 専門用語の解説を充実

意味の分かりづらい用語について、画面を切り替えることなく表示

3 検索機能の強化

利用者がまず知りたいと思う情報から事業所検索ができる機能を追加。
(営業日、営業時間、利用者負担額 等)

モデル事業①(検索画面トップページ)

インターネット初心者でも、迷わないで事業所が検索できるよう工夫

介護サービス選択
お助けネット

東京都

このサイトは介護サービス事業所が提供するサービス内容や運営状況に関する情報を公表しています。

このページの操作方法

中 大 最大

さがす

「サービス」や「地域」を選んで検索ボタンを押して下さい

このサイトは介護サービス事業所が提供するサービス内容や運営状況に関する情報を公表しています。

サービスを選ぶ

- ▶ 介護保険施設に入所したい
- ▶ 有料老人ホームなどに入居したい
- ▶ 短期間だけ入所したい
- ▶ 住み慣れた地域にある小規模の施設に入りたい
- ▶ 認知症に対応した共同生活できる住居に入りたい
- ▶ 自宅を訪問してもらえるサービスを利用したい
- ▶ 自宅から施設に通ってサービスを利用したい
- ▶ 福祉用具を利用したい
- ▶ 訪問や通い、ショートステイなどのサービスを組み合わせたい
- ▶ ケアプランをつくってほしい

地域を選ぶ

多摩西部

多摩北部

多摩南部

23区西部

23区東部

島しょ

気になる単語で検索

いずれかのキーワードを含む

すべてのキーワードを含む

選んだサービス

選んだ地域

クリア

検索する

モデル事業②(お助けネット「概要版」)

膨大な事業所情報から基本的な内容をピックアップして紹介

社会福祉法人(社協以外) 千代田区立岩本町高齢者在宅サ ービスセンター (短期入所生活介護)	東京都千代田区岩本町2-15-3 Tel: 03-5825-3407 Fax: 03-5825-3408 URL: http://www.tama-dhk.or.jp 記入年月日: 2011年07月23日
事業所概要	
運営方針	(1)要介護状態等の心身の特徴を踏まえ、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るような援助を行う。 (2)利用者の孤立感の解消、家族等の身体的・精神的負担の軽減 (3)市区町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供。
事業開始年月日	2004年02月01日
協力病院 ?	社会福祉法人三井記念病院、医療法人和風会
サービス内容	
サービスの特色 ?	利用者の要介護状態の軽減もしくは悪化の防止または、要介護状態となることへの予防に配慮した目標を設定し、計画的に行います。また、予防だけでなく、利用者お一人お一人が楽しめる滞在となるよう、レクリエーション活動を計画的に行います。 サービスの質の評価を行い、常にその改善および向上を図ります。
送迎サービスの有無 ?	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
リハビリテーション実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
より質の高いサービスの取り組み(加算) 加算とは? ?	サービス提供体制強化加算(仮)

モデル事業を踏まえ、新システムの開発へ

新システムの開発について

「見やすい」「使いやすい」「わかりやすい」

利用者の目線に立ち、選択を支援できるシステムを構築していく

公表方法の主な課題

■画面が見づらい、分かりにくい

(情報量、テキストが多く頭に入らない)

■操作方法が難しい

(どうやって検索すれば良いのか分からない)

■事業所の特色が分からない

(どこを見れば事業所の特色がわかるのか)
(現行システムは事業所のメリットが少ない)

見直しのポイント

一般の利用者の目線に立った、
分かりやすい内容に工夫

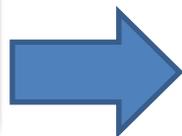
ネット初心者でも迷わず、必
要な情報が得られるよう工夫

事業所の特色が一目でわかる
よう工夫

※課題については、シルバーサービス振興会介護サービス情報公表センター調査研究における、平成21年度介護サービス情報の公表制度支援事業利活用促進等研究会報告書、平成22年度介護サービス情報の公表制度支援事業公表画面改善のためのモデル事業報告書 等より抽出

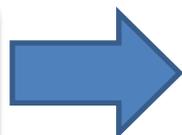
見直しのポイント

一般の利用者の目線に立った、
分かりやすい内容に工夫



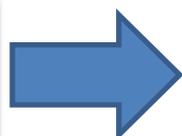
- 全体をとおして「シンプル」な画面とする
- テキストだけでなく、地図、ボタン、アイコン等を活用する
- 配色は高齢者でも見やすくなるよう工夫
- 説明はわかりやすい表現とし、絵・図を活用し親しみやすいホームページとする

ネット初心者でも迷わず、必要
な情報が得られるよう工夫



- 一画面の情報量を最小限にし、迷いを防止する
- 膨大な事業所情報を「内容」ごとに整理する
- 閲覧者をサポートする「解説」「ヘルプ」機能を大幅に充実する。

事業所の特色が一目でわかる
よう工夫



- 「事業所の特色」ページを創設し、事業所がPRしたい内容を自ら投稿できる仕組みとする
- 利用者にとって有益な情報である、画像や動画についても閲覧ができるようにする

※「事業所の特色」ページの投稿は、事業所の任意